



2022 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 出 光 興 産 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 藤 俊 一
(コード番号:5019 東証プライム市場)
問 合 せ 先 経 理 財 務 部 関 根 宗 宏
I R 室 長
(TEL : 03 - 3213 - 9307)

特別損失の計上、法人税等の減少 及び業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ

当社は 2022 年 3 月期 (2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日) において特別損失、法人税等の減少を計上するとともに、2021 年 11 月 9 日に公表しました 2022 年 3 月期の連結業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

2022 年 3 月期決算において、当社の海外子会社である IDEMITSU ASIA PACIFIC PTE.LTD. (シンガポール、社長：山本 洋、海外サービス機能会社) が Nghi Son Refinery and Petrochemical LLC (以下 NSRP、ベトナムにて製油所を運営する関連会社、当社出資比率 35.1%、決算期は 12 月) に対して有する長期貸付金等につき、長期貸付金評価損 55,916 百万円を計上しました。

2. 特別損失計上の理由

NSRP が運営するベトナム ニソン製油所は、上期 (1～6 月) の海外製品市況の低迷、ベトナム国内での新型コロナ感染拡大による需要低迷など、厳しい事業環境は継続したものの、在庫・タイムラグ影響の改善や収支改善策への取り組み等により 2020 年度対比では大幅な増益となりました。一方で、同社に対する長期貸付金等につき見積将来キャッシュ・フローに基づく公正価値評価を実施した結果、長期貸付金等の帳簿価額を下回ったことから、評価損失を計上しました。

3. 法人税等の減少 (益) について

2022 年度 3 月期決算において、当社の子会社であるソーラーフロンティア株式会社の株式に係る株式評価損を、法人税法上の損金に算入したため、法人税等及び法人税等調整額が約 340 億円減少することとなりました。

4. 法人税等の減少 (益) の理由

当社は、過年度にソーラーフロンティア株式会社の株式について株式評価損 (累計で約 1,100 億円) を計上しましたが、当該評価損については法人税法上の損金に算入していませんでした。今般、2022 年 6 月頃を目途にソーラーパネル製造を終了することを決定した等の状況変化を踏まえ、当該評価損を 2022 年 3 月期において損金に算入することを決め、これにより法人税等及び法人税等調整額が減少することとなりました。

5. 2022年3月期の連結累計期間の業績予想値と実績値の差異
(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円、円)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	6,580,000	300,000	330,000	220,000	739.98
今回実績 (B)	6,686,761	434,453	459,275	279,498	940.15
増減額 (B - A)	+106,761	+134,453	+129,275	+59,498	
増減率 (%)	+1.6%	+44.8%	+39.2%	+27.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	4,556,620	140,062	108,372	34,920	117.47

6. 2022年3月期の連結累計期間の業績予想値と実績の差異理由

営業利益及び経常利益は、原油価格上昇に伴う燃料油セグメントの在庫影響、タイムラグの拡大を主要因として増益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、1.に記載の特別損失を計上したものの、上記要因が寄与したこと、3.に記載の法人税等の減少等から、594億円の増益となりました。

(前提条件)

(単位：ドル／バレル、円／ドル)

	前回発表予想	今回実績	増減
原油価格 (ドバイ原油)	72.1	78.1	+6.0
為替レート	109.9	112.4	+2.5

以上